

1 幼稚園の教育目標

イ. すなおな子 ロ. たくましい子 ハ. かしい子

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

1. 体を動かして思いきりあそぶ
2. 生活に必要な習慣や態度を身につける
3. 人の話をよく聞き、相手にわかるように話す

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1	保育の計画性	B	年度当初、教育課程の見直しを行なった。教師全員で共通理解ができるよう話し合いの場を設け、年次ごとや子どもの実態に添いながら、子どもが楽しくのびのびと活動できるよう先を見通した計画を立てていきたい。また、子どもの姿や発達の状況、家庭環境等を考慮して保育内容等を見直していきたい。	B
2	保育のあり方 幼児への対応	B	子どもが主体的に関われるように、意図的に環境構成に創意工夫すると共に支援のありかたについても研究していきたい。子どもの興味関心に沿った活動ができるよう今年度も体育あそびに力を入れてきた。また、個々の子どもについては教師自身が確かな見目を持ち対応できるように努力していきたい。	A
3	教師としての資質、 能力、良識、適正	B	保育の教材研究や環境づくり等話し合い、子どもの実態に合わせて新しいものを取り入れるように心がけてきた。また、子どもと共に感動を共有し、成長してけるように外部の専門家にアドバイスをもらったり、研修に参加したりして教師としての保育の資質等が向上できるようにこれからも努力していきたい。	A
4	保護者への対応	A	参観・家庭訪問・個人面談・連絡帳等で家庭との連携を取り合ってきた。また、“おやこんぼ”の日も定着してきて親子での触れ合う機会も広がってきている中で、保護者と園との連携を強く感じる。尚、保護者からの要望や意見は柔軟に受け止め、対応するようにしている。	A
5	地域の自然や社会 とのかかわり	B	地域の行事に参加したり、できる限り地域の人々との関わりをもつようにしたりしている。また、園外や園周辺の自然や地域に目を向け、季節を感じて子どもたちが興味、関心が持てるような取り組み等を心がけていきたい。今後も積極的に地域の自然や社会と豊かな体験が得られる機会を持てるよう努力していきたい。	B
6	研修と研究	B	教師の専門性を高め、人間性や社会性を培うために研修に進んで参加し、学んだ内容を研修記録にして報告し園職員全体で共有するようにしている。また今後もより良い保育を目指し、保育の専門性を高めるために努力していきたい。	B
7	外部アンケート	B	アンケートで園や教師に協力的で信頼してくれている保護者が多かった。特に体育あそびが充実し、子どもたちの成長に大きな影響を与えていることを実感している様子が分かる。また、希望にはなるべく添えるよう、保護者の意見を参考に保育内容等を見直していくと共に、相談しやすい園にしていきたい。	A

- *結果の表示方法
- A (3.5以上) 十分達成されている
 - B (2.0以上) 達成されている
 - C (1.0以上) 取り組まれているが、成果が十分でない
 - D (1.0未満) 取り組みが不十分である

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

- ・子どもの健全な心身の発達を願い、戸外あそびの時間を増やしたり、体育あそびを通して身体を動かす楽しさやできた喜びを感じながら、意欲的に取り組めるようになってきたと同時に友だちと力を合わせる気持ちや粘り強く頑張る気持ちが持てる子どもに育ってきている。
- ・毎日の繰り返しの中で基本的な生活習慣等は身につけてきている。個人差はあるが、人の話が聞けなかったり、場に応じた適切な態度がとれない事があるので毎日の生活の中での様々な経験や教師の適切な指導が大切であると感じる。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育内容や行事の取り組み方について検討したい	子どもたちが主体的に楽しんで活動できるよう行事等の取り組みについて少しずつ見直しを行ってきた。満3才児の入園も増え、丁寧な配慮が必要になってきているので、今後も活動内容や取り組み方について見直し、子どもたちが更に楽しめるように検討していきたい。
生活に必要な習慣や態度を身につけたい	毎日の生活の中で、聞く喜びをたくさん経験できるよう思いを伝えあう場を設け、聞くこと話すことへの子どもの意識を高めるように配慮していきたい。また、教師が個々への適切な言葉がけをしていくことが大切であると感じている。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

別紙参照